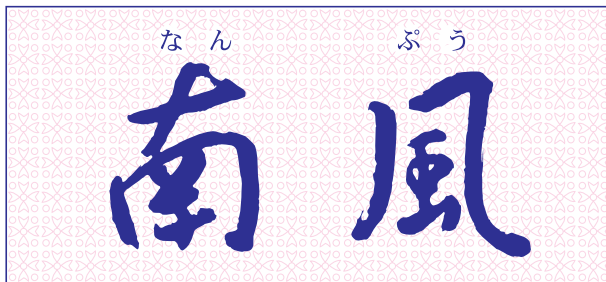


令和5年度
秋季号



発行
公益財団法人
沖縄県交通遺児育成会

〒900-0027
沖縄県那覇市山下町18番26号
山下市街地住宅2階B-211号室
電話 (098) 987-0743
FAX (098) 987-0744
<http://okiko-iku.com>



那覇西クリニックまかび 玉城信光先生撮影「頑張れ！頑張れ!!」：那覇市医師会チャリティー写真展出品作品より

令和5年度の給付選考委員会を開催 39人へ奨学・育成金等が認定

沖縄県交通遺児育成会の「令和5年度交通遺児奨学金等給付選考委員会」が9月25日、沖縄県教職員共済会館八汐荘で開かれ、給付申請者39人が認定されました（前年度比12人減）。奨学・育成金の給付額は339万円、前年度より144万4000円の減となります。

そのほか、激励金、見舞金、リーダー育成金をあわせた令和5年度の総給付額は420万円、前年度比88万4000円減となりました。

（3ページにつづく）

海外留学に興味ありませんか

沖縄県交通遺児育成会は子どもたちに国際的な視野を広げてもらうため海外留学を支援いたします。対象は当会の給付を受けている中学生以上の生徒、学生に限ります。

留学を希望しながらも経済的に厳しい子どもたちに最大50万円の支援金を給付！

留学先はご自身で決めていただけますので、『この留学プログラムに挑戦してみたい』とご検討中の皆さん、育成会事務局へお気軽にお問合せください。

令和5年度の募集締切りは11月15日です。

（育成会事務局：098-987-1074）

令和5年度 第2回理事会開催

新理事長に船越龍二氏、 副理事長に上江洲隆氏を選定



令和5年度第2回理事会

任期満了による役員改選に伴い、理事長、副理事長選定のための令和5年度第2回理事会を7月21日、沖縄産業支援センターで開催しました。

理事の互選により、新理事長に船越龍二（沖縄テレビ放送株式会社代表取締役社長）（新任）を、副理事長に上江洲隆（県高等学校長協会会長）（新任）が選定されました。



船越龍二理事長

船越理事長は「皆様のお力添えをいただきながら交通遺児の子どもたちが安心して巣立っていきけるよう、精一杯努めていきます」とあいさつ。

上江洲副理事長も「新しい仕事に携われることを楽しみにしています。船越理事長を支えながら重責を果たします」と述べました。

第2回評議員会の開催

令和5年度第2回評議員会を9月4日書面決議で開催し、人事異動に伴う役員選任について、全評議員から承認の同意が得られました。新評議員、役員は次のとおり。

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会

役員名簿

（令和5年9月4日現在）

評議員（10名）

- 親泊 一郎 元・株式会社琉球新報社社長
- 野原 朝昌 沖縄県自動車販売協会会長
- 新城 英一 公益社団法人沖縄県トラック協会会長
- 新・山城 克己 一般社団法人沖縄県バス協会会長
- 東江 一成 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会会長
- 宮城 正明 公益財団法人沖縄県交通安全協会連合会専務理事
- 登野原 功 沖縄県軽自動車協会専務理事
- 下地 一彦 一般社団法人沖縄県指定自動車学校協会専務理事
- 與古田思好 一般社団法人沖縄県レンタカー協会専務理事
- 長堂 克彦 沖縄都市モノレール株式会社総務部長

理事（9名）

- 理事長 船越 龍二 沖縄テレビ放送株式会社社長
- 副理事長 上江洲 隆 沖縄県高等学校長協会会長

理事

- 半嶺 満 沖縄県教育委員会教育長
- 新・前川 英之 株式会社ラジオ沖縄社長
- 普久原 均 株式会社琉球新報社社長
- 武富 和彦 株式会社沖縄タイムス社長
- 中村 一彦 琉球放送株式会社社長
- 赤岩 勇二 日本放送協会沖縄放送局局長
- 新・長濱 弘忠 株式会社エフエム沖縄専務取締役

監事（1名）

- 佐次田 朗 前・公益社団法人沖縄トラック協会会長

（敬称略、順不同）

「儀間教育振興会奨学生」 当会推薦10人の 採用が決定

（公財）儀間教育振興会の奨学金制度に、当会推薦で10名の学生が採用されました。

同振興会は、自身も苦学生だったジーマ創業者の故・儀間常亀氏が1993年に設立。以来、本年度含め352人の学生に総額8174万円の奨学金が贈られてきました。

奨学金を受けた学生からは「夢に向かって勉強に励み、充実した学校生活を送れた」「勉強時間を増やすことができた」「国家試験や資格取得に積極的に挑み、卒業を迎えたい」「母の負担を減らし、気持ちにゆとりを持つて勉学に励めた」など、感謝のメッセージが寄せられました。奨学金を大いに活用し、本来の目的が達成できるよう応援しています。

なお、例年8月に行われる奨学生証書交付式は、本年度も見合わせとなりました。

II 給付選考委員会開催 II

選考委員会は教育、福祉、行政機関から出席した6人の委員で構成し、委員長に県小学校長会の宮國義人会長(銘苅小学校校長)、副委員長に県中学校長会の與那覇正樹会長(長嶺中学校校長)が互選されました。



令和5年度給付選考委員会

育成会事務局から本年度の申請状況について報告。県外への転出者を含む給付停止者は7人、就職などによる資格喪失者は10人、前年度からの継続申請者は34人となりました。

新規申請者の2世帯5人(小学生1人、中学生1人、高校生3人)については、世帯状況の説明とあわせ提出書類の確認などを選考内規に基づき審査しました。

審査の結果、本年度申請を希望した継続、新規者39人全員が認定されました。内訳は小学生5人(前年度比4人減)、中学生13人(同2人増)、高校生13人(同7人減)、専門学校生6人(前年同)、大学生2人(同3人減)の24世帯(前年度比8世帯減)となります。

また、入学・卒業時に贈られる激励金は中学卒業生1人へ2万円、前年度比4人減(同8万円減)。事故から1年以内の申請者が対象となる見舞金は5人へ15万円、前年度比2人増(同6万円増)となりました。リーダー育成金は、国内派遣費用として2人に14万円、前年度比1人増(同8万円増)、海外留学費用として予定額50万円が決定されました。

激励金の給付対象者で市町村の就学援助を受けている者については、本年度も激励金のみ除外する条件付き採用とすることで確認しました。

その他、選考委員会運営要綱や選考内規等の改定案についても、委員からの積極的な意見や助言を仰ぎ、今後の給付支援の幅が広がることを確認し、改定案の同意を得ることができました。

今年度出席した委員は次のとおり。

県小学校長会宮國義人会長、県中学校長会與那覇正樹会長、県高等学校長協会仲宗根勝副会長、県社会福祉協議会渡嘉敷聡民生部長、県子ども生活福祉部消費・くらし安全課奥間政課長、県教育庁保健体育課高良大輔指導主事。
(順不同)

激励伝達で学校を訪問



今年度新規認定された子どもたちを激励するため、仲田国子事務局長らが学校を訪問しました。

校長先生や担任の先生立ち合いのもと、「何事にも懸命に取り組み、たくさんの知識と経験を積み上げてください。今後のご活躍を応援しています」と船越理事長のこたばを伝達。



子どもたちからは「高校受験をがんばります」「大学へ進学したい」「指定校推薦をねらっている。将来は管理栄養士になるのが夢」「小さい頃からの夢である理学療法士を目指します」など抱負が寄せられました。

皆さんの成長と今後の活躍をたくさんの人が応援しています！！



県青少年フレンドシップイン九州へ2人を派遣

(公社)沖縄県青少年育成県民会議主催の「沖縄県青少年フレンドシップイン九州」へ当会から2人を派遣しました。約200人の研修団が7月29日から4泊5日の日程で熊本県・福岡県を訪れ、高校生班長を中心に自然体験やキャンドルのつどい、号車別発表会をとおし団結力や友情を育むなど、子どもたちはひと回りも二回りも大きく成長し帰ってきました。

今回は、台風6号の影響により帰着が2日延びてしまいましたが、最後まで盛りだくさんだった研修活動を紹介します。

『フレンドシップ』

船越小学校5年 瑞慶覧のあ

わたしは、このフレンドシップに行っている学んだりしました。くまもと城や牛のところやバスでいろんな見学をしました。バスの中もとても楽しかったです。くまもと城も大きかったし中もすごかったし、最上階も達成感とか景色がすごくてとてもびっくりしました。

パン君がいた動物園も行きましたが、パン君が見られなかったのが残念でした。一番楽しかったのがおみやげ買いです。その人の反応が楽しみで、えらんでいるのが楽しかったです。



写真：県青少年育成県民会議提供

『フレンドシップを通して』

開邦中学校1年 比嘉結希人

私は、「沖縄県青少年フレンドシップイン九州」を通して、沖縄では普通できない様々な体験をすることができました。

この研修では、班のみんなと一緒に熊本城、仙酔峡など熊本県の様々な場所を自分達の足で観光することができました。特に心に残ったのは、水基巡りと仙酔峡ハイキングです。合計15キロメートル位歩いて、疲れながらも班員同士ではげまし合いながら頑張っ、しっかり最後まで歩き切れたのもとても大きな達成感があり、良い思い出となりました。

号車別発表会では、本番でしっかり練習の成果を出せたときはとても嬉しかったです。

このフレンドシップを通して、私はリーダーシップを持つという、沖縄にいる時の目標を達成することができました。このフレンドシップで得た思い出と経験を糧にして、これからも乗り越えられなさそうな壁があっても、この思い出とやり遂げたという実績をもとに頑張っていきたいと思いました。



写真：県青少年育成県民会議提供

帰着後に行われた県への事業報告会には、団員代表として比嘉結希人さんが参加し「年齢の違う子どもたちとの交流を通して、自分たちで考えて行動する自主性を学びました」と、全7日間(延泊含む)で得た貴重な体験を報告しました。報告を受けた県子ども生活福祉部の宮平道子部長は「台風もあり心配だったが、副班長として自主性を持ち、団員を引っ張っていくために頑張ってくれて感謝します」と労いました。

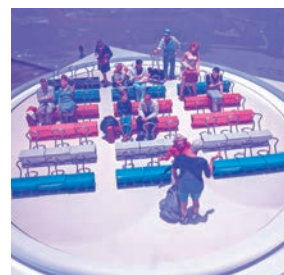


沖縄テレビ放送(株)からのご招待で「MINIATURELIFE展2」を楽しんできました！！



写真：ご家族提供

ミニチュア作品展行ってきました！作者の方の発想などがとても面白くて、ワクワクしながら楽しめました！ありがとうございます (^)☆☆ (南城市在住のご家族より)



写真：ご家族提供

学校や家でふだん使っている物や食べ物が見方を変えただけでまったく違うものになっていてすごくおもしろかったし、まねしてみたくなりました。

(那覇市在住のご家族より)

(6ページ関連)

第23回那覇市医師会 チャリティー写真展開催



写真展のテープカットを行う育成会の船越龍二理事長、医師会の友利博朗会長、交通遺児代表の船越小学校5年瑞慶覧のあさん(写真左から)



チャリティー写真展ラジオカー収録

那覇市医師会会員施設の先生や職員、家族らが撮影した何気ない日常の風景や出張先で撮影した作品などを展示販売する「第23回那覇市医師会チャリティー写真展」(8月15日〜同20日)が、パレットくもじ6階那覇市民ギャラリーで開催されました。同写真展は交通遺児育成基金造成を目的とするほか、医療関係者の趣味や人柄がにじみ出た作品を多くの方に観ていただき、地域の方々が診療の現場でも

リラックスして過ごせるような関係性を築いていくことも趣旨の一つとなっています。当初、沖縄県医師会が取り組んできた同写真展を、平成13年から那覇市医師会が引き継ぎ、今回で23年目を迎えます。オープニングテープカットで那覇市医師会の友利博朗会長は「お医者さんはどうしても真面目、頑固といったイメージがあるが、あのお医者さんは、こんな写真を撮るん

だな、とこの写真展を通じて身近に感じてもらえたら嬉しい。また、ユニークなタイトルも一緒に楽しみ、ナイスタイトル賞にも投票してほしい」とあいさつ。育成会の船越龍二理事長は「先生方の人間味あふれる作品に触れるとともに、写真展が今まで続いてきた歴史の重みを感じている。交通遺児への基金造成に感謝します」と述べました。また、写真展二日目にはエフエム沖縄番組内でも取り上げられ、出演した友利会長が多くの来場を呼び掛けました。

今回出展された97点の作品は1点2千円で販売され、会場に設置したポックス募金等とあわせて当育成会へ全額寄付されます。同写真展からはこれまでに総額658万4985円もの浄財が寄せられています。(7ページ関連)



初寄付

【了承】寄付者紹介文中の役職名は贈呈式当時のものを掲載しております。

鹿銀私募債で10万円 鹿児島銀行とアイギスHD

鹿児島銀行(松山澄寛頭取)が取り扱う「かぎんSDGs推進私募債」を利用したアイギスホールディングス(柴田泰伸社長)写真中央)は、私募債発行時に係る手数料の寄付先に当会を指定。手数料受領者の鹿児島銀行より、その一部の10万円が贈られた。6月14日、那覇市のラジオ沖縄で行われた贈呈式には鹿児島銀行沖縄支店の久見瀬克己支店長(同左)も出席



し、森田明理事長へ目録が贈られた。柴田社長は「前触れもなく突然交通遺児になった子どもたちの未来のためにお役に立ててください」と話した。

個人の方からも 支援の輪

8月7日、「応援している人がいるので頑張ってください」とのメッセージとともに那覇市在住の方から1万円の寄付。

また、8月24日にも「環境に厳しいところがあると思う

が、人に頼ってもいいので皆の思いを力にかけて頑張ってください」と、同じく那覇市在住の方から千円の寄付。

ありがとうございます。



継続団体

子どもたちの夢のために 青い海が10万円寄付

シママース本舗の青い海(又吉元栄社長)は6月5日、育成会事務局を訪れ10万円を寄付した。屋嘉比元常務取締役COO(写真右)と神蔵岳紘経営企画部長(同左)は「来年は50周年を迎える。会社立ち上げから社会貢献に力を入れてきており、今後も子どもたちの夢のために支援していきたい」と寄付金を託した。



可能性と発想を広げてほしい OTVがミニチュア展へ招待

沖縄テレビ放送(船越龍二社長)写真中央)は6月30日、ミニチュア写真家・田中達也氏の作品展「MINIATURE LIFE展2」の招待券51組102枚を寄贈した。那覇市のラジオ沖縄で行われた受贈式には、共催の沖縄美ら島財団湧川盛順専務理事(同左)も同席。船越社長は「ミニチュアアートの世界でいろいろな可能性と発想を広げてほしい。」と話した。同展は7月12日から9月3日まで沖縄県立博物館・美術館で開催された。



事故防止活動にも取り組む 軽自動車協会が30万円

県軽自動車協会(加藤憲志会長)写真右)は6月5日、30万円を寄付した。浦添市の琉球ダイハツ販売本店で行われた贈呈式で加藤会長は「協会として交通安全のために、今後も事故防止活動を積極的に取り組んでいきたい」と話

チャリティーゴルフで11万円余 おきなわ・ふぁみりー結の会

沖縄ファミリーマートの取引業者らでつくるおきなわ・ふぁみりー結の会(儀間仁会長)は、6月30日に懇親チャリティーゴルフコンペを開催し、参加者から募った11万2千円を寄付した。同日、那覇市内のホテルで贈呈式が行われ、野崎真人沖縄ファミ

大同火災が20万円余 社員の思いを込めて

大同火災海上保険(与儀達樹社長)の根元崇英経営企画課長(写真右)と金城勇哉主任(同左)が7月5日育成会事務局を訪れ、社員へ呼びかけ寄

した。



リーマート社長(写真右)より目録が贈られた。



せられた募金20万9802円を寄付した。根元課長は「交通事故故ゼロを思う社員の思いが込められています。子どもたちのために役立ててください」と寄付金を託した。



進学チャンスを失わないで 沖縄ビル・メンテが30万円

沖縄ビル・メンテナンスは9月7日、30万円を寄付した。那覇市の沖縄テレビを訪れた幸地均社長(写真中央)と大嶺隆取締役総務部長(同左)は、「子どもたちには進学チャンスを失わず目標を持って頑張ってもらいたい」と寄付金を託した。



子どもたちが安心して暮らせるように
JAGグループ沖縄が62万円余

J A 共済連沖縄県本部（兼城勝本部長）は、62万1800円を寄付した。寄付金は地域における交通事故対策支援金と共済基金の運用益やJAGグループ職員からの募金によるもの。7月14日に那覇市のラジオ沖縄で贈呈式が行われ、J A 共済連沖縄県本部運営委員会の嘉数康雄会長（写真右から2人目）は「子どもたちがこれからも安心して暮らせるよう、支援を継続していきたい」と話した。



立派な社会人になるように
ハイヤー・タクシー協会が30万円

県ハイヤー・タクシー協会（東江一成会長）写真中央は8月17日、8月5日の「タクシーの日」にちなんで会員から寄せられた30万円を寄付した。金城哲副会長（同右）らとともに那覇市の沖縄テレビを訪れた東江会長は「保護者の不意な事故によりつらいこともあるだろうが、しっかりと教育を受け立派な社会人になってほしい」と、船越龍二理事長へ寄付金を託した。

夢をかなえるために使つて
整備振興会南部支部が6万円余

県自動車整備振興会南部支部（大城優支部長）写真左は8月29日、育成会事務局を訪れ6万6761円を寄付した。振興会のマスコット「てんけんくん」と訪れた大城支部長は「8月に行ったチャリティイベントで募金です。子どもたちの夢をかなえるために使ってください」と話した。



チャリティの純益金を寄付
県華道連盟が10万円

県華道連盟（芝田祐蔵会長）写真右から3人目より、7月24日・25日に沖縄ハーバービューホテルで開催された「第43回チャリティ いけばな展」の純益金80万3051円のうち10万円が贈られた。9月8日、同ホテルで行われた寄贈式で芝田会長は「県内の困っている人たちのために使ってほしい」と寄付金を託した。純益金は、りゅうちゃん子どもの希望募金、県アイバンク協会へも贈られた。



継続することが大事
那覇市医師会が34万円余

那覇市医師会は9月20日、34万3000円を寄付した。寄付金は8月15日・20日の日程で開催された交通遺児育成基金造成チャリティ写真展での写真の売り上げと会場内に設置された募金箱、個人寄付を合わせたもの。那覇市の沖縄テレビを訪れた友利博朗会長（写真中央）と仲本昌一写真展実行委員長（同左）は「写真展も寄付も継続していくことが大事。これからも交通遺児を応援していく」と話し、寄付金を託した。



寄付協力者ご芳名

令和5(2023)年6月1日～令和5(2023)年9月30日

育成会では、募金ボックスを設置いただける協力事業所を募集しています。

団体寄附		
6月	(株)青い海	100,000
	沖縄県軽自動車協会	300,000
	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部	200,000
	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部	50,000
	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部	73,000
	(株)鹿児島銀行私募債 (株)アイギスホールディングス	100,000
	沖縄電力(株)(職)	109,424
	おきなわ・ふぁみりー結の会	112,000
7月	大同火災海上保険(株)	209,802
	JA グループ沖縄	297,180
	(有)海邦生コン工業	100,000
	(株)JA おきなわ SS	151,924
	金城電気工事(株)	13,190
8月	(一社)沖縄県ハイヤー・タクシー協会	300,000
	沖縄ビル・メンテナンス(株)	300,000
	沖縄県自動車整備振興会南部支部	66,761
9月	三和金属(株)	100,000
	沖縄県華道連盟	100,000
	(一社)那覇市医師会	104,000
	(株)兼生	100,000
	国頭教育事務所(職)	5,600
	(株)琉球新報社(職)	122,500

個人寄附		
6月	匿名	30,000
	中井優治朗	3,000
	マエダマサヒロ	3,000
	匿名	20,000
	嵩山欣三	12,565
	具志堅興也	5,000
	宇保直人	3,000
	赤嶺隼人	2,000
7月	ナガミネヤスエ	100,000
	ウチマタケヒロ	5,000
	慶佐次勉	41,000
	マエダマサヒロ	3,000
	(株)丸博建設代表平良ヒデ	10,000
	船越龍二	2,000
	宇保直人	3,000
	赤嶺隼人	2,000
8月	匿名	60,000
	匿名	10,000
	山城秀廣	3,000
	具志堅興也	5,000
	マエダマサヒロ	3,000
	匿名	20,000
	津嘉山琢也	1,000
	赤嶺隼人	2,000
9月	中井優治朗	3,000
	宮城淳	10,000
	守屋円	2,000

	宮里尚義	10,000
	仲本昌一	2,000
	真志取浩貴	50,000
	友利博朗	10,000
	久田友治	2,000
	嵩山護	14,000
	玉城利昭	100,000
	マエダマサヒロ	3,000
	宇保直人	3,000
	赤嶺隼人	2,000

ボックス募金		
6月	(株)琉球銀行八重山支店	14,884
	(株)沖縄海邦銀行西崎支店	3,023
	宜野湾整形外科医院	14,047
	A&W沖縄(株)サンエー経塚店	12,535
	(株)琉球銀行豊見城支店	12,216
	大城眼科医院	4,590
	(株)沖縄銀行牧港支店	3,683
7月	(株)琉球銀行与那原・佐敷支店	20,318
	A&W沖縄(株)名護店	15,872
	那覇地区交通安全協会	15,911
	嶺井第一病院	12,430
	A&W沖縄(株)那覇新都心おもろ店	13,638
	東タクシー(株)	7,209
8月	かなしろ内科	2,644
	トーマ産業(株)	88,960
	西日本高速道路総合サービス沖縄	328
	(株)メイクマン具志川店	24,546
	沖縄総合事務局陸運事務所	46,588
	(株)琉球銀行久米島支店	2,652
	ホテルサンパレス球陽館	2,849
	(株)あんしん	7,988
9月	(株)沖縄銀行本店営業部	1,218
	(株)沖縄銀行末吉支店	6,284
	(株)沖縄銀行山内支店	10,048
	(株)沖縄銀行宮古支店	22,280
	(株)沖縄銀行糸満支店	1,676
	(株)琉球銀行安波茶支店	6,954
	アポロビューティーサロン	5,831
	(一社)那覇市医師会	39,000
	(株)メイクマン美浜店	83,248
	(株)琉球銀行具志川支店	2,495
	JA おきなわ豊見城支店 A コープ課	19,420
	(医)ちゅうざん会ちゅうざん病院	22,023
	にんにく居食屋ありんくりん	51,058

学校寄附		
7月	石垣市立石垣第二中学校	8,000
8月	(学)沖縄キリスト教学院大学	7,782
	(大)沖縄県立看護大学	10,000
9月	県立真和志高等学校	4,538

賛助員寄附		
7月	(株)技建	100,000
	(資)南風原石油	20,000
	(株)リウエン	20,000

	(株)古波蔵組	10,000
	花城和子	20,000
	南光開発(株)	10,000
	大晋建設(株)	10,000
	協栄海事土木(株)	20,000
	(一社)沖縄県指定自動車学校協会	20,000
	(株)祖慶電設工業	10,000
	(株)拓琉金属	10,000
	(株)國興建設	10,000
	(有)上宏工業	10,000
	(有)たくし塗装店	50,000
	(株)山城石油	10,000
	(株)残波ゴルフクラブ	10,000
	平良光明	20,000
	東洋コンクリート(株)	10,000
	沖縄ツーリスト(株)	30,000
	(一社)沖縄県建設業協会	10,000
	(株)東海産業	20,000
	琉球セメント(株)	20,000
	金城電気工事(株)	10,000
	(株)大寛組	10,000
	(株)リウコム	10,000
	(株)沖縄ゼネラルサービス	30,000
	沖縄製粉(株)	20,000
	(株)琉球通運航空	20,000
	(株)りゅうせき	20,000
	琉球ダイハツ販売(株)	30,000
	那覇鋼材(株)	20,000
	田場工機(有)	10,000
8月	琉球ミート(株)	10,000
	(株)朝日建設コンサルタント	10,000
	第一総業(株)	10,000
	(一財)湧川財団	20,000
	りゅうざん保証(株)	20,000
	(株)ジミー	10,000
	(株)国建	20,000
	長嶺電機(株)	5,000
	(株)琉球新報発送	10,000
	文進印刷(株)	10,000
	(株)紗利真	20,000
	(有)ひが重機リース	10,000
	(株)照正組	10,000
	那覇空港ビルディング(株)	20,000
	沖縄電力(株)	100,000
	オリオンビール(株)	30,000
	琉球物流(株)	10,000
	トーマ産業(株)	20,000
	北大東製糖(株)	20,000
	沖縄コカ・コーラボトリング(株)	20,000
	(医)彩の会やびく産婦人科・小児科	10,000
9月	(株)沖縄特電	20,000
	(有)みね造園	10,000
	沖縄セラー電話(株)	200,000

受贈品寄付		
6月	沖縄テレビ放送(株) MINIATU RELIFE展 2ご招待券 102枚	

※敬称略

ボックスデビュー

株式会社残波ゴルフクラブ

株式会社残波ゴルフクラブ(大嶺宗紀社長、読谷村)は7月26日、交通遺児育成会の募金ボックスを設置しました。同社は1992年より読谷村の残波岬にゴルフ場をオープンし、海が見えるゴルフ場として親しまれています。日頃から育成会の事業を支援していただいておりますが、今回ゴルフ場を訪れる皆様へも協力いただこうと、募金ボックスを設置することになりました。



101号 寄付協力者ご芳名 訂正お詫び

ボックス募金
 4月 (有)新石油 14,615円 とあるのは
 4月 (有)信栄石油 14,615円 の誤りでした。
 関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正いたします。